

# あなたの悩み 解決します!



垣見 祐司  
(垣見油化・代表取締役専務)

## 魅力ある人になるために

どこまで、お役に立てるか分かりません。でも、「気愛」。そう、今月から気持ちと愛を込めたメッセージを送りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。初回は4月にちなみ「新入社員の悩み」と「社員教育」を通じて、「経営者と従業員とのコミュニケーション」をお話させていただきます。

**SS業界に入社しましたが、  
実は、今ひとつ自信がありません。  
どうしたら良いでしょうか**

ある従業員Nさんの質問

あなたはSS業界が第1志望でしたか?第1でも第3でも、今、それはもう問題ではありません。結果として縁あって、あなたが「社会生活」の代表として選んだ会社なのですから、変な話、辞めるその日まで、精一杯頑張ってみては如何でしょう。

う。そうなんです。自信があるかないかではなく、精一杯頑張る、何事にも前向きに積極的にチャレンジし続けて、常に自分を向上させ続けていけば、それでいいのです。

例えば、何か仕事上のちょっとした疑問があったとします。叱られながらも、恥をかき続けても、上司に聞き続けたA君。一方「これを聞かなくても、別に給料が下がる訳でもないし、まっいいか」と気持ちとして逃げ続けたB君。

この2人が同じ100の知識をもって入社したとしても、1カ月後の差はどうなると思いませんか。A君は1日1つずつ知識や経験を上乘せしていつて、12

0のレベルになる。一方のB君は、一見知識は減らないような気がしますが、なんとなく逃げ続けた負目から、その知識は経験とはならず、モチベーションも下がり、結果として80くらいまで下がってしまうのではないのでしょうか。その差は実に40%にもなるのです。

そしてここで考えてほしいのは、もしあなたが、その2人の新人の「上司」だとしたら、1年後に何かチャンスがあった時、2人の内のどちらにそのチャンスをおあげますか?

2人の意気込みや努力の差に気が付いていたあなたは、当然A君にチャンスをおあげますよね。その時、B君はきつと言ってしまう。「たった1年で何が分る!だから世の中は平等じゃ

ないから、嫌いだ」あれれ、B君は、人のせいにはしていませんね。

私はいつも思いますが、世の中は確かに平等ではありません。でも人が、心からしてきた真摯な努力に対しては、「公平」に見ていく人、かなりいるのではないかと思えます。そう、今これを読んでいるあなたも、「そりや俺だつて頑張っているA君にチャンスをおあげるよ」と思ったようにです。

そしてもう1つ心掛けておくと、生きるのが楽になり、人間的な成長が出来る秘訣は、「逆境に強い人になれ、逆境時にこそ、その人の本当の真価が発揮される」ということです。逆境は、実は役職も学歴も関係ありません。その人の経験や本当の総合力や人間性が試されます。では、逆境はなぜ怖いのでしょうか。よくいただく答えは「想定外だから」というものです。でもそれだけでは、私は50点だと思います。



例えば、英検1級の実力を持っている人に、英検4級の「想定外の抜き打ち」試験があったとします。多少のミスはあっても、やはり1級の実力と5級の實力は、間違いなく出るでしょう。従って1級の資格を持つている人にとっては、想定外の抜き打ち試験でも、それは逆境ではなく、他の人との能力の差を認めてくれる、あるいはアピールできる、実は「公平なチャンス」であったことが分ります。

では「逆境がなぜ怖いのか」。私は、①自分の対応能力を

超えている ②いつ来るか分からない、からだと思えます。では、この逆境を乗り越えるためには、どうしたら良いのでしょうか。

例えばこの逆境が、「大勢の社員の前で、自己紹介して、と突然指名される」程度のものであれば、どうでしょう。当社社員は、新入社員教育はもちろん、若手社員教育を通し、ずっとその練習を続けています。その練習をし続けた社員が、何かの会に当社代表として出席した時など「誰か自己紹介やってくれよ」と言われた時に「でしゃばる気は無いけれど、自分に振られたらきつちりやりますよ」と、顔をあげて講師の方をしっかりと見ているでしょう。練習したことも経験も無い人にとつては、間違いなく「逆境」です。下を向きます。実は演台からは、この動作の違いは非常に良く見えており、この差も前述のA君とB君の差ぐらい、大きなものなのです。

新入社員の時は、勿論出来なくても結構です。でも2回、3回と研修会を経た後は、「自己紹介はあつて当たり前。だったら練習しておこう」という心構えさえあれば、前述①の能力も付き、②のいつ来るか分らないものの、いつ来ても良いような備えが出来たとと言えるでしょう。

こうした「常に前向きに積極的に生きる」と「自己紹介1つでも事前にちゃんと練習したか」という、そんなちよつとの積み重ねの差が、何かチャンスの際に「人生を分ける差」となると現れることが、お分かり頂けると思います。

「何で会社のために、俺が努力しなくてはいけなんだ」という後ろ向きな発想ではなく、自分を磨き、自分を向上させ、立派な社員に、業界人に、そして立派な社会人に、そして「魅力ある人」になるために、そのちよつとの努力をしてみてくださいいかがでしょうか。